

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・ラグビーワールドカップ2019の機運醸成を図るイベントをOne Rugby,One Oita大作戦として実施し、大会開催を県内外に広く周知することができた。
②	・誘致活動の結果、3回の海外代表チーム等のキャンプが実現し、参加チームから本県の受入体制に好印象を得るとともに、国内外のトップレベルの選手と県民との交流を通じ、競技力の向上やスポーツ振興等を図ることができた。
③	・プロスポーツチームと学校との交流事業の訪問先から「本物に触れる経験は子どもたちにとってかけがえのないものだと感じた」といった感想が寄せられるなど、スポーツに親しむ機運の醸成が図られた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	ラグビーワールドカップ開催準備事業	1,189,702	A	継続・見直し	34
②	国際スポーツ大会誘致推進事業	29,688	A	継続・見直し	24
③	スポーツ交流地域活力創出事業	26,084	A	継続・見直し	33

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第4回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H28.11)</p> <p>・ラグビーW杯ロンドン大会を視察した際、街中にインパクトのあるデザインのパスターが掲示されていた。そこで、例えば、県出身の漫画家にアイデアを依頼し県内各地に看板等を設置することにより、大分らしい機運醸成が図られるのではないか。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・H31年度のラグビーワールドカップ2019大分開催に向け、本年5月の予選組分け抽選や秋の試合日程公表を契機として、ラグビーの競技普及や大会機運醸成の取り組みを拡充するとともに、大会ボランティア募集の仕組みづくりや交通輸送計画をはじめとする各種計画策定等の大会準備の取り組みを加速する。 ・東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際スポーツ大会の事前キャンプ等の誘致のため、県内市町村や競技団体等と連携し、関係を築いた各国との事前キャンプ受入合意を目指した重点的な誘致活動を実施する。 ・プロスポーツチームによる小学校や総合型地域スポーツクラブ等への訪問に加え、ホームゲーム時のイベント開催やホームゲームへの親子招待等を実施し、県民が幅広くスポーツに親しむ機会を創出する。